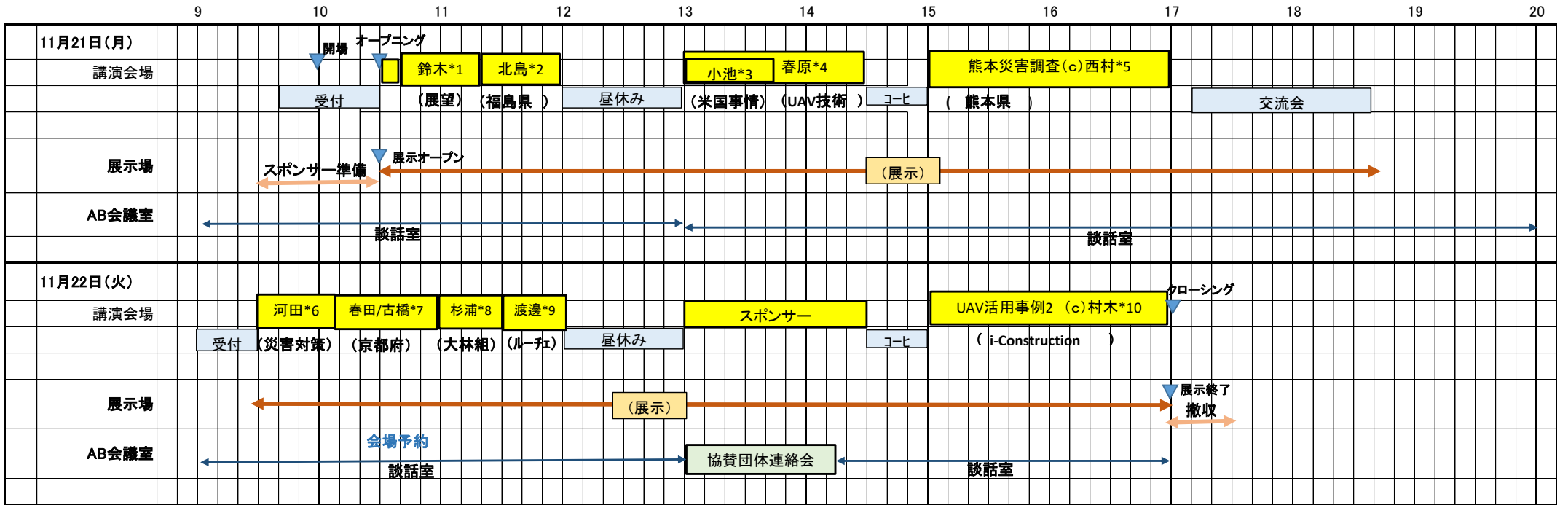


第2回UAV活用フォーラム タイムチャート案 2016-08-03



発表者プロフィール

- \*1 鈴木真二(東大・宇宙航空 教授) JUIDA(日本を代表するUAV推進団体)会長。資格認定制度
- \*2 北島明文(福島県商工労働部・ロボット産業推進室) 災害訓練センター、Diserster City 設置・運用 ドローン空港開設
- \*3 小池良次(シリコンバレー-UASコンソーシアム 代表) FAAはじめ米国事情精通
- \*4 春原久徳(sunohara ドローン・ジャパン 会長) 日本でのUAV開発草分け ドローン技術と応用で、日本を代表するお一人
- \*5 西村正三(計測リサーチコンサルタント) 3次元計測、ドローン活用で多方面で活躍 SPARJ・UAV諮問委員  
熊本災害への対応実践。本セッションのコーディネータ
- \*6 河田恵昭(関西大学 社会安全 教授、京大名誉教授) 日本の災害対策 国・行政指導の大御所。日本災害情報学会創始者(現在の会長は、田中 淳 東大教授)
- \*7 春田健作(京都府 京都技術サポートセンター) 社会インフラ 災害防止のための保守点検 ドローン活用  
古橋勝也(京都府 災害対策課)
- \*8 杉浦伸哉(大林組) ゼネコンとしてUAV活用推進。国交省ガイドラインの実践と改訂提案。
- \*9 渡辺 豊(ルーチェサーチ 代表) ドローンの現場適用、災害現場調査のパイオニア。各種行政機関と協定締結・実践 SPARJ・UAV諮問委員
- \*10 村木広和(国際航業) 航測業界でのドローン活用の第一人者 SPARJ・UAV諮問委員  
i-construction のテーマでセッションでの発表とコーディネータ